

- ✓ これまで頂いた御意見については、庁内で共有・検討するなかで、9月補正予算などにより以下のとおり事業化等を実施
- ✓ この他の御意見についても、引き続き実施を検討していく

意見
<p><b>【情報発信の強化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発信力の強化</li> <li>・リピーター獲得のための情報発信</li> <li>・心地よい環境づくりと、その発信が重要</li> <li>・県内のシェアオフィスやコワーキングスペースをまとめたサイトが欲しいという声がある</li> </ul> <p><b>【法人（企業）・コミュニティの誘致】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の移住だけではなく、法人の移住も一つのテーマとして位置付けていくと面白い</li> <li>・企業誘致というよりは、プロジェクト誘致・コミュニティ誘致</li> </ul> <p><b>【ワーケーションの推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験移住の積極的な実施</li> <li>・観光をきっかけとした移住意欲の喚起</li> <li>・山梨県の様々なリゾートとワーケーションをどう結び付けていくか</li> </ul> <p><b>【住宅の提供】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所有者が空き家を貸したくなる取り組み</li> <li>・行政が関与し、空き家を貸す仕組みを構築</li> <li>・二拠点目の確保に係るコスト低減 (ex. 利用しやすい料金体系、手頃な不動産の用意)</li> </ul> <p><b>【インフラの整備】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃校等を利用したインフラ整備 (デジタルインフラを整備、安い家賃で提供し、まずは中核となる企業を誘致)</li> </ul> <p><b>【大月市をモデルとしたコミュニティ創出】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクセスの良い大月をゲートウェイとして位置付け、情報のコミュニティゾーンを創出</li> </ul>

## 二拠点居住の推進 (9月補正予算計：464,241千円)

➢ 東京一極集中から地方分散の流れ、テレワークの普及等を踏まえ、二拠点居住(※)を積極的に推進  
※都市部と地方部に2つの拠点をもち、どちらの拠点にも仕事・生活の拠点を置くライフスタイル

➢ 新たにスタートアップ・企業等をターゲットに、重点的に施策を展開

● 二拠点居住のイメージ

■ ポータルサイト構築による情報発信  
(◎やまなし未来創造ポータルサイト (仮称) 構築事業費)

■ FMラジオ・移住専門誌による情報発信  
(やまなし安全・安心移住生活プロモーション事業費) ※6月補正予算

**STEP1 興味・関心**

● ニーズの把握・現地視察ツアー・フォローアップ  
(◎二拠点居住企業誘致推進事業費)

地方にも拠点をもちたいけど、どこかいいところはないかなぁ  
 山梨ってどんなところ？  
 行政からの支援は何かあるの？

**STEP2 訪問・滞在**

■ 人材育成や体験プログラム造成・実施等によるワーケーションの普及促進  
(◎ワーケーション導入支援事業費)

■ 宿泊施設等におけるワーケーション環境の整備促進  
(◎ワーケーションモデル事業費補助金)

■ 空き家の掘り起こし・活用  
(◎低利用空き家情報収集事業費)  
 (◎二拠点居住推進空き家活用事業費補助金)

**STEP3 二拠点居住・移住**

■ オフィス・社宅等設置への新たな助成制度の創設  
(産業集積促進助成金) ※制度拡充

■ 市町村のサテライトオフィス・コワーキングスペース整備支援  
(◎二拠点居住拠点整備推進事業費補助金)

■ 事業用地としての県有地活用  
(◎県有地を活用した新たな企業活動等の場創出事業費)

**関連予算**

- モデルケース (デュアルベースタウン) の打ち出し  
(◎山梨県デュアルベースタウン推進事業費)
- 課題・ニーズに機動的に対応できる予算を確保  
(◎政策課題対応事業費)

1

# これまで頂いた御意見の施策への反映について

	意見	対応
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パンデミック時の仕事の確保のため、自治体による異業種間などのマッチングの場の提供</li> </ul>	<p><u>[9月補正予算／人材シェアマッチング事業費]</u> 雇用を維持し失業を防止するため、関係機関と連携し、一時的に人材が余剰となった企業と不足している企業のマッチングを行う</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光型MaaSの全県的な導入（最も効率的かつ安全な滞在の仕方の情報提供）</li> <li>・県内の方たちの移動を含めた新しいMaaSの構成を考えていくべき</li> <li>・MaaSにより、移動の利便性向上とともに地域の情報を集約</li> </ul>	<p><u>[9月補正予算／やまなし観光MaaS整備事業費]</u> 国内外からの誘客と県内周遊を促進するため、一次・二次交通及び観光事業者等の連携による利便性の高い「やまなし観光MaaS」を整備する（やまなし観光MaaS推進協議会（仮称）の設置、二次交通事業者等に対する予約決済システムの導入支援等）</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化・アートを絡めた観光の推進</li> <li>・人を呼び込むためには、自然だけでなく、アート、文化、ウェルネスといった切り口が必要</li> <li>・日常にアートや音楽が溶け込んでいく世界をどう作るのか、文化的なところをどうやってまちづくりと一緒に整備するか</li> </ul>	<p><u>[9月補正予算／美術館等を中核とした文化クラスター推進事業費]</u> 国内外からの誘客を促進するため、文化・自然・食の連携を通じ、美術館等の文化観光拠点施設を中核とした地域活性化に資する取り組みを行う（多様な鑑賞プログラム、周遊観光のためのレンタルバイク実証実験の実施、現代美術家と協働したアートプロジェクトの開催等）</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美味しいレストランを増やすため、有名な個人シェフの誘致</li> </ul>	<p><u>[既定予算で対応]</u> 「ワイン県やまなし美食ブランド創造アドバイザー」や「ワイン県やまなし美食コンソーシアム」の設置により、本県の豊かな食材を活用した、本県ならではの新たな料理スタイルの確立・飲食ブランドの向上を図るとともに、首都圏在住のトップシェフを対象に「県産食材・美食ツアー」を開催し、本県への興味喚起・誘致に取り組む</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然だけでなく、山梨ならではのプロモーション</li> <li>・山梨という選択肢が自然に出てくるようにアピール</li> </ul>	<p><u>[既定予算で対応]</u> 山梨のブランド力を強化するための部局横断的な地域プロモーションについて、検討を進めている</p>